

# 訪問看護拠点 9府県設置なし

## 岩手、京都など 本社調査

常勤の看護職が5人以上出勤し、年間15人以上の看取りを行うなど、国が定めた要件を備えた大規模な訪問看護ステーションが開設されているのは、設置の目安となる地域医療圏の約4割にとどまっていることが読売新聞の調査でわかった。同ステーションは在宅医療の拠点として期待されているが、岩手、京都など9府県で設置届がなく、地域で偏在していた。

調査では、地方厚生局に情報公開請求をし、昨年10月1日現在で設置届が出された施設を都道府県ごとに集計した。集計によると、訪問看護ステーションは全

### 大規模ステーション

●訪問看護大規模ステーションの届け出状況

都道府県	大規模ステーション数	医療圏数	大規模ステーションがある医療圏の割合
全国	238	344(131)	38%
大阪府	15	8 (7)	88
岐阜県	8	5 (4)	80
東京都	28	13 (10)	77
宮城県	6	4 (3)	75
静岡県	9	8 (6)	75
熊本県	2	11 (2)	18
愛媛県	2	6 (1)	17
大分県	3	6 (1)	17
宮崎県	2	7 (1)	14
北海道	1	21 (1)	5

( )内は大規模ステーションがある医療圏数。岩手、秋田、京都、鳥取、高根、岡山、山口、香川、高知は大規模ステーションの届け出がなかった

訪問看護ステーション 自宅療養中の患者に看護職などを派遣する施設。訪問看護師は、点滴・注射、人工呼吸器など医療機器の管理のほか、病状が悪い患者の食事や入浴の介助などを行う。経営が不安定な小規模ステーション(常勤看護職5人未満)が全体の約6割を占め、大規模化による能力向上が課題となっている。

体で8713施設あり、大規模ステーションは238施設が届け出ている。

地域医療の単位として都道府県が定め、一つの市町村は複数の市町村で構成する「2次医療圏」で見ると、全国344か所のうちの131医療圏(38%)で1施設以上の届け出があったが、残りの213医療圏(62%)は設置届がなかった。

人口に比べて病床数が少ない埼玉県のさいたま、川口の両医療圏はそれぞれ六つの大規模ステーションが稼働。一方、療養病床が多い高知、香川両県は届け出施設

設がなかった。大規模な訪問看護ステーションは、2次医療圏ごとに最低1か所はあるのが望ましいとされている。

高齢化で在宅患者の増加が予測される中、各地域で訪問看護師の研修などを行う拠点的な機能を持つステーションが必要になっており、昨年4月の診療報酬改定で、こうした研修を行う、能力の高い大規模ステーションの報酬が増額された。

日本看護協会の斎藤節子常任理事は「大規模化は24時間対応がしやすくなるなどメリットが多い。再編や小規模ステーションとの役割分担などについて地域で話し合ってほしい」と話している。

